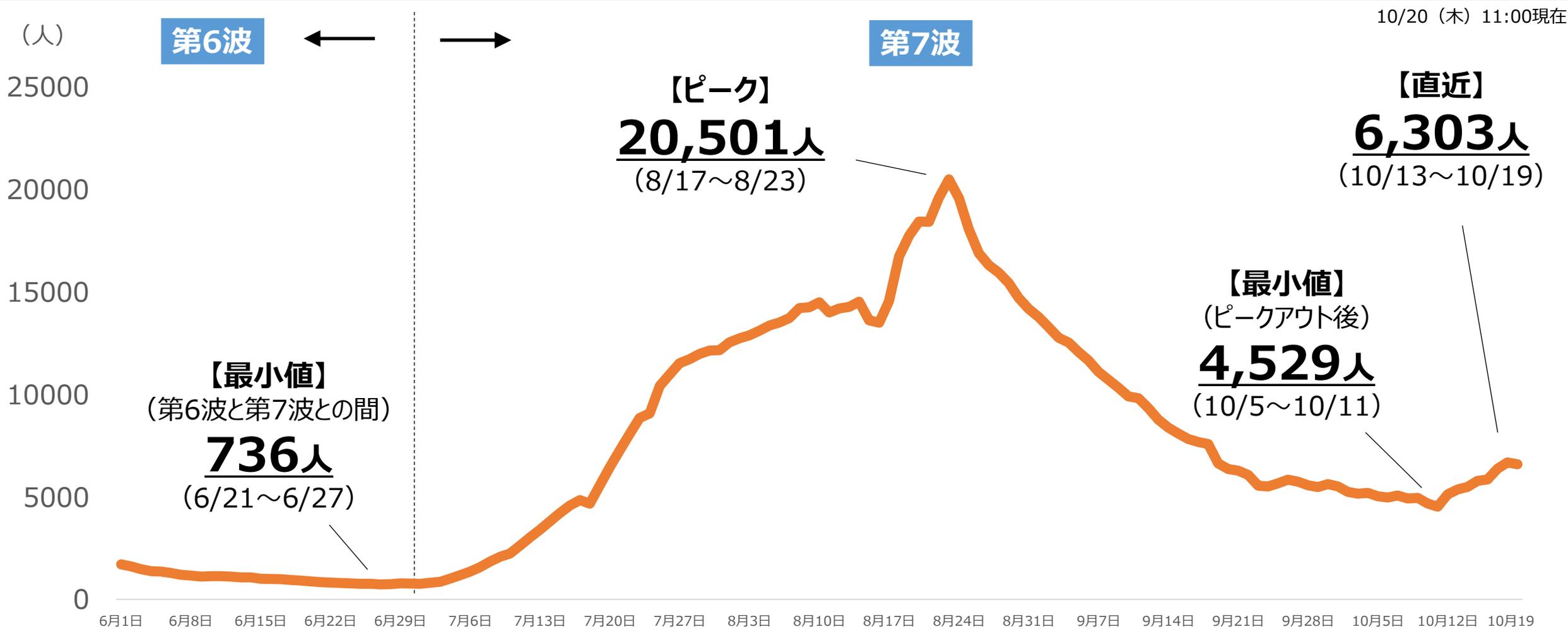


10月20日（木） 知事会見

全県に「医療警報」を発出します

直近1週間の新規陽性者数の推移 (R4.6~)

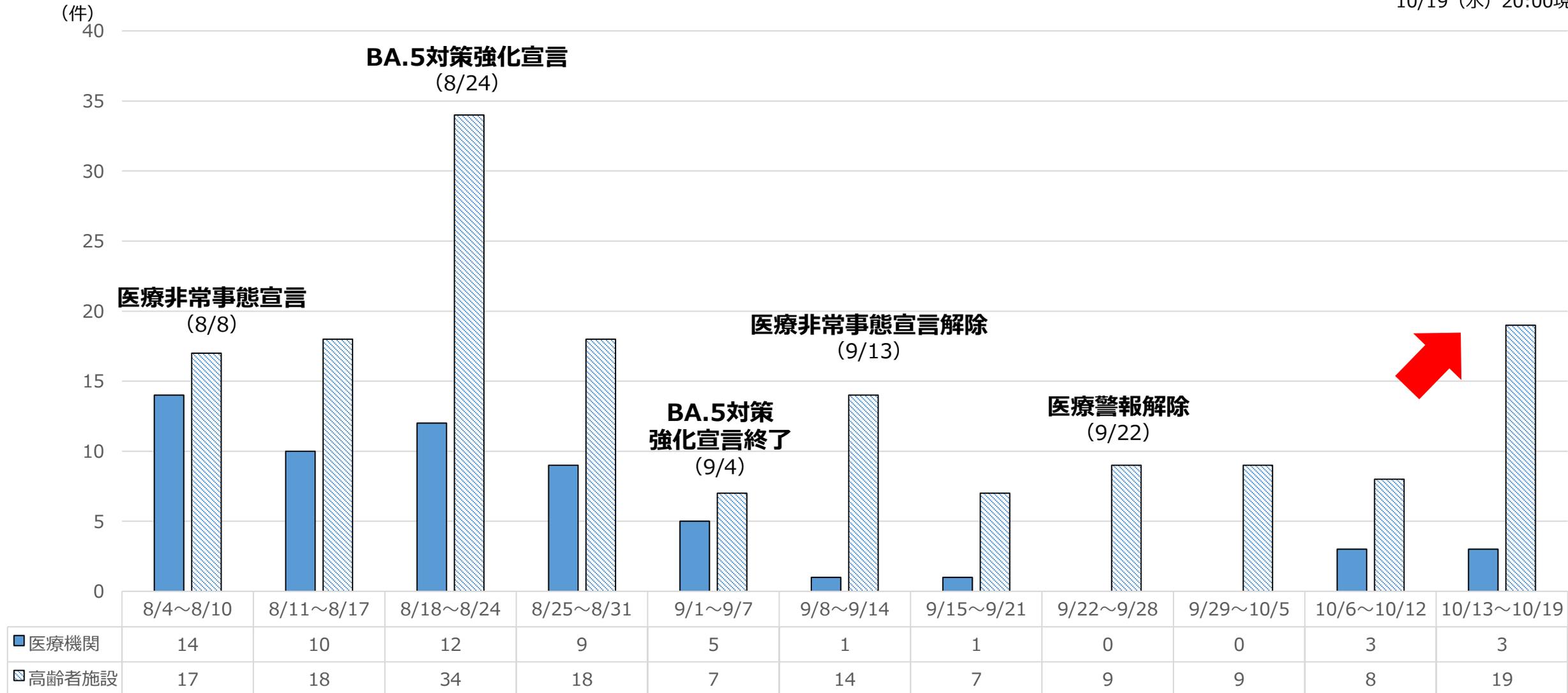
再び増加傾向で、直近 (10/13~10/19) では6,303人に。第6波と第7波との間と比べて陽性者数が下がりきらず、相対的に高い水準からの感染再拡大であり、今後の更なる増加が懸念。



高齢者施設、医療機関における集団的感染の発生状況

医療警報解除後も減少することなく、直近1週間では高齢者施設での発生が大幅に増加

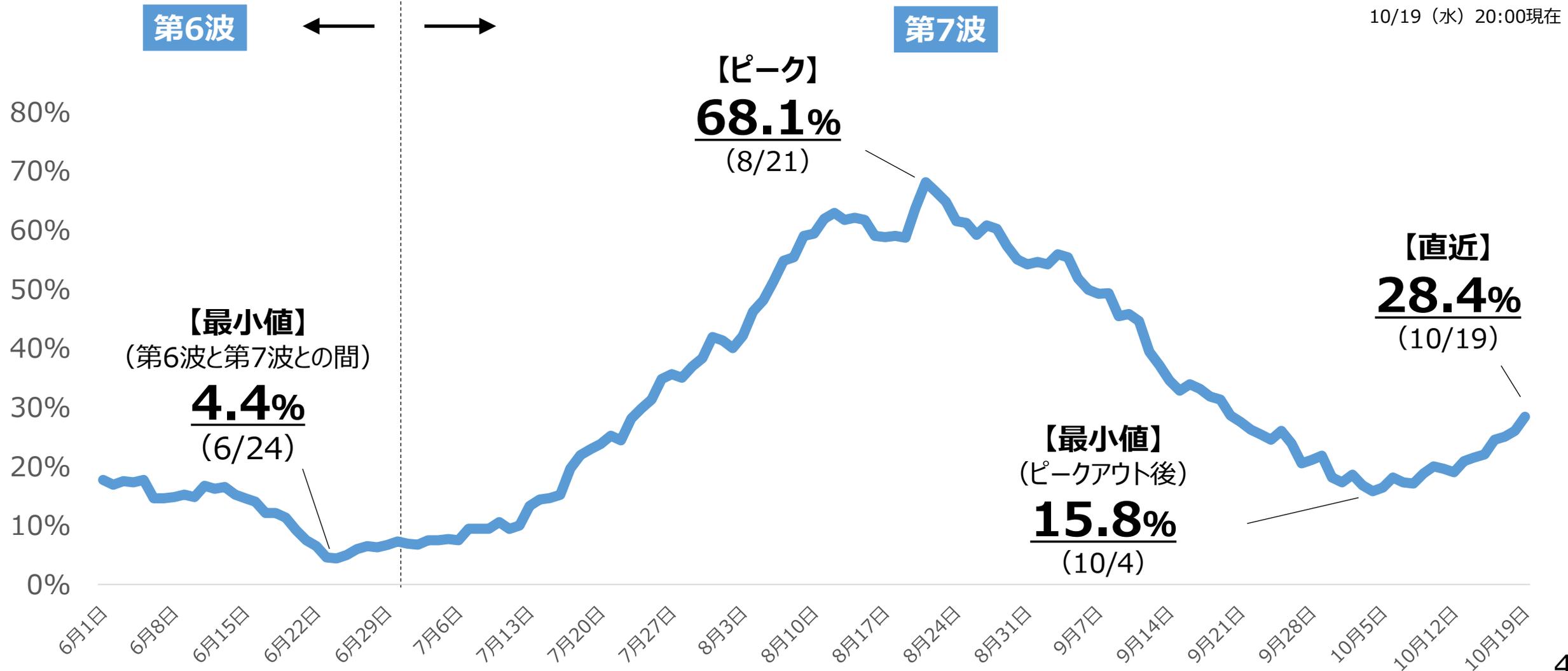
10/19 (水) 20:00現在



(長野市・松本市公表分含む、公表日で集計)

確保病床使用率の推移 (R4.6~)

昨日時点の病床使用率は28.4%まで上昇し、3日続けて医療警報発出基準である25%以上に。第6波と第7波との間と比べ、使用率が下がりきらないまま再上昇しており、今後の更なる負荷増大が懸念

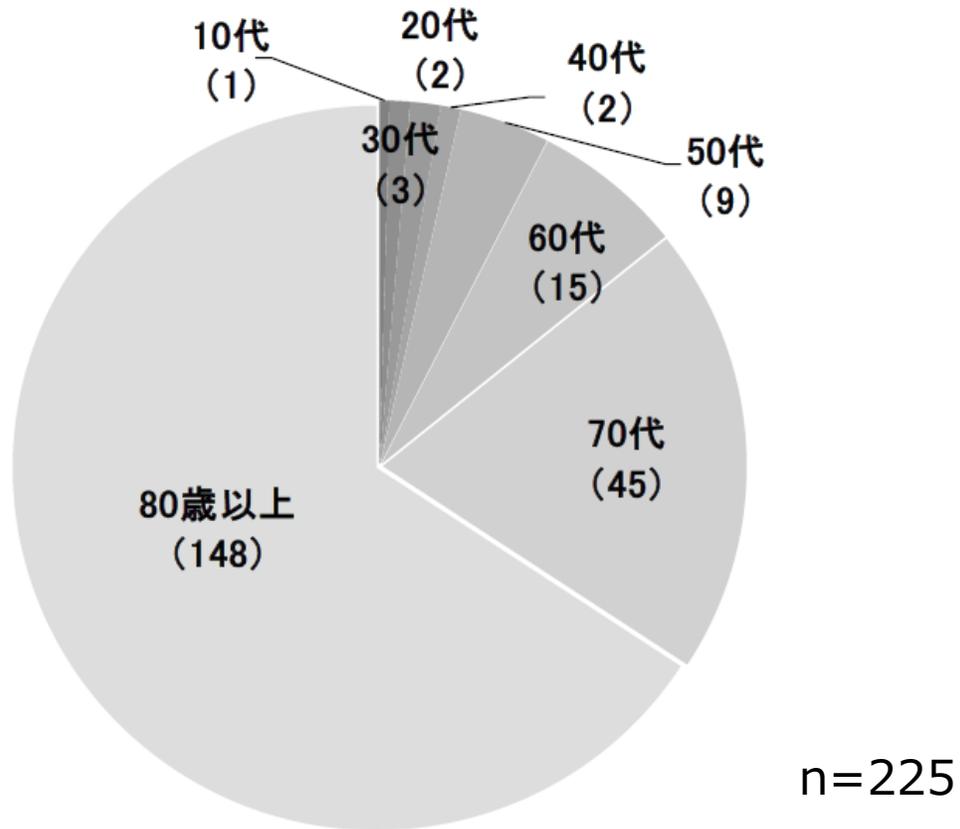


入院者（確保病床）の状況

昨日時点で、入院者の90%、中等症以上の方の92%を高齢者が占めている

10/19（水） 20:00現在

【入院者（確保病床）の年代】



うち、65歳以上 203人（90.2%）

【中等症以上の方】

重症	1人
中等症	50人
計	51人

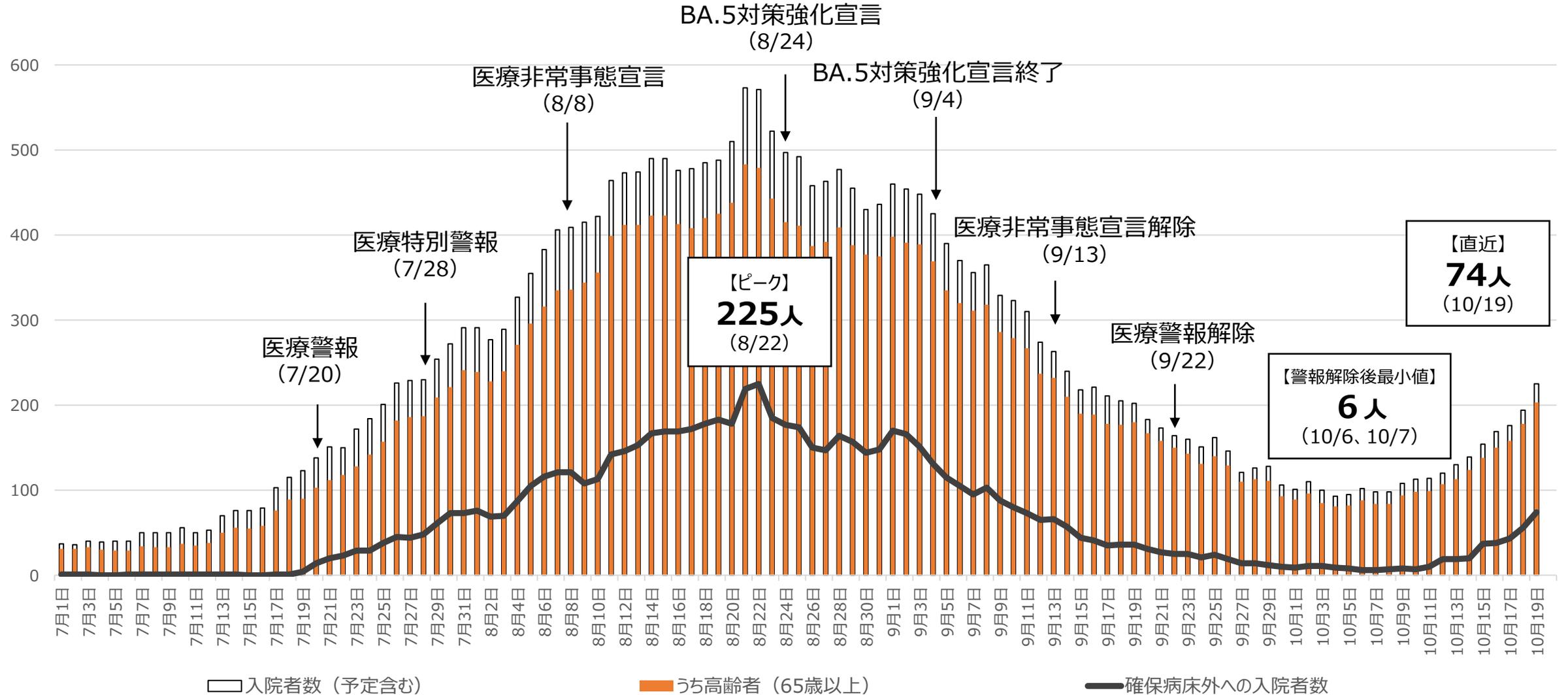
うち65歳以上 47人（92.2%）

入院者（確保病床外）の状況（R4.7～）

確保病床外の入院者数も再び増加（6人（10/6、10/7）→74人（10/19））

(人)

10/19（水）20:00現在



医療への負荷が再びかかり始めていることに加え、特に今冬においては、第7波を上回る新型コロナウイルス感染症の新規陽性者の発生や、季節性インフルエンザとの同時流行による医療のひっ迫が懸念されていることから、医療への負荷をできるだけ軽減することが極めて重要

全県に「医療警報」を発出します

目標

医療特別警報（確保病床使用率35%以上）の発出を回避し、確保病床使用率25%を安定的に下回ることを目指す

感染警戒レベル

木曽圏域を除く次の9圏域のレベルを4に引き上げ
<佐久、上田、諏訪、上伊那、南信州、松本、北アルプス、長野、北信>

別紙

新型コロナ第7波の感染再拡大を踏まえた 県民の皆様へのお願い

に沿った行動をお願いします

県としての対策

特に、今冬において、第7波を上回る新規陽性者の発生や、季節性インフルエンザとの同時流行による医療のひっ迫が懸念されていることも踏まえ、次の取組を進めます

- **ワクチン接種の促進**
- **自己検査及び軽症者登録センターの利用促進**
- **高齢者施設等の従事者等に対する検査の実施**
- **更なる感染拡大への備え**

オミクロン株ワクチンの接種が始まっています

オミクロン株対応ワクチンは接種間隔が3か月で接種できるようになります

対象となる方

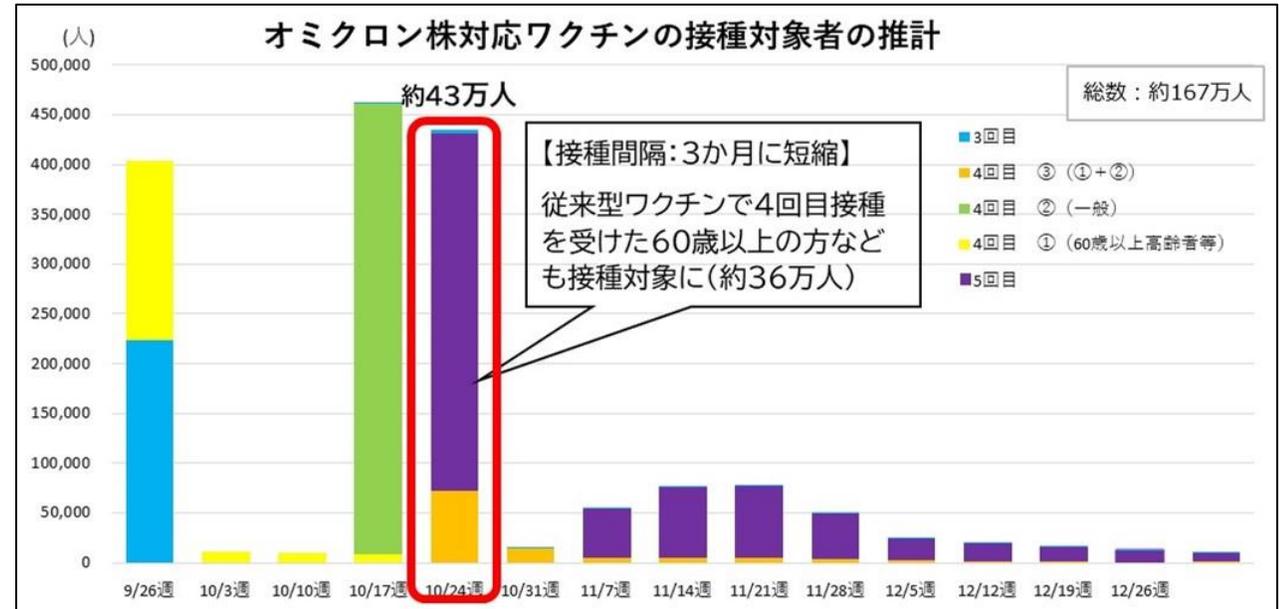
2回目以上接種済の12歳以上の方

前回接種からの接種間隔

5か月 から **3か月に短縮**

(本日の厚労省の審議会です承後、早ければ21日にも実施される見込み)

従来型ワクチンで4回目接種を受けた60歳以上の方なども
10月下旬から順次オミクロン株対応ワクチンの接種対象となります



オミクロン株に対して今までのワクチンを上回る効果がありますので

「新しい年を安心して迎える」

ために、速やかな接種をご検討ください

県民の皆様命と健康を守るために

医療への負荷が重くならないよう、

県民全体で協力し合って、この危機を乗り越えていきましょう